

観光循環バス

旭川では夏秋の観光シーズン（毎年7月～10月上旬）に観光循環バス「ファンファンバス」と「まちくるバス」が運行される。市内の主な見どころを完全網羅する便利なバスで、乗車予約は不要。バス乗り放題の1日乗車券（大人800円）、旭山動物園の入園券がセットになった1日乗車券（大人1500円）を利用できる。乗車券や付属クーポンの提示で入館料の割引や特典を受けられるので、是非とも活用しよう。

www.fanfanbus.com

ファンファンバス

旭川駅前＝クラフト館前＝あさひかわラーメン村入口＝男山酒造り資料館前＝旭川家具センター前＝上野ファーム前＝旭山動物園前＝旭川兵村記念館前＝高砂明治酒造前＝蔵田夢・大雪地ビール館前＝旭川駅前＝北鎮記念館前＝中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館・井上靖記念館前＝川村カ子トアイヌ記念館前＝北の嵐山入口（嵐山公園入口）＝北海道伝統美術工芸村＝旭川駅前

まちくるバス

旭川駅前＝北海道立旭川美術館前・常磐公園入口＝旭川駅前＝旭川市科学館サイバル前＝地酒蔵大雪乃蔵前＝THE・Sun蔵人入口（神楽岡公園・上川神社入口）＝三浦綾子記念文学館・見本林前＝旭川市博物館・旭川地場産センター前＝旭川駅前

インフォメーション

旭川観光物産情報センター

旭川駅東コンコースにある観光案内所。旭川市はもちろんのこと、近郊や大雪山国立公園の詳細な観光パンフレットを揃えており、物販販売所では地元ならではの土産を取り扱う。4月末から10月末までの期間はレンタサイクルを貸し出し（1日500円）。手荷物預かり（1点1日700円）も受け付けている。自転車で乗って常磐公園や旭橋、神楽岡公園、外国樹種見本林、石狩川河川敷などをめぐってみよう。

旭川市内の路線バス

旭川市内には道北バスと旭川電気軌道という2つのバス会社がある。路線バスは基本的に旭川駅前発着であるが、西武百貨店A館前の1条7丁目、または1条8丁目から出発する系統もある

食べる・飲む

さんろく街

買物公園西側の旭川市3条通6丁目を中心とした道北地方最大の歓楽街。5・6丁目通りの2条から4条までのエリアに酒場や居酒屋、バーなど、1000軒以上の飲食店が軒を連ねる。独特の活気に溢れており、週末の人通りや賑わいは相当のもの。深夜から翌朝の5時近くまで人通りが途絶えないほどだ。旭川は内陸の都市であるが、日本海やオホーツク海に比較的近いため、海の幸やカニ料理を味わえる店も充実している。

蜂屋5条支店

夏と冬の気温差が約60度もある旭川の代表的なご当地ラーメン。ラードを多く含むしょうゆ味がベースで、縮れの少ない麺を使用している。旭川駅の観光案内所で「あえてラーメン屋を一軒選ぶならば？」と尋ねてみたところ、5条通7丁目ふらりーとの「蜂屋」を教えてくれた。味は云々、観光協会の方が曰く、「旭川らしいラーメン屋」なのだそう。つまり、旭川ラーメンというものは味が云々というよりも、「旭川らしい」雰囲気味わうところに魅力があるのではないだろうか。

大雪地ビール館

旭川駅から東方向へ徒歩5分の「蔵田夢」内にあるレンガ造りの地ビールレストラン。ケラ・ビルカや大雪ビルスナー、各シーズン限定のビールを味わうことができる。地ビールの試飲セットもあるので、列車の待ち時間などを利用して訪れるのもおすすめだ。

11時30分～22時、12月31日・1月1日休館



Please visit ekinavi-net.jp

北海道とサハリンのオンライン旅行ガイド。様々な旅行シーンで役立つ観光情報や公共交通案内、読みやすい地図、無料パンフレット、ホテル予約サービスを提供しています。

旭川散策ガイド

道北の中心都市を歩く

The smart travel guide



ekinavi-net.jp

エリアマップ



見どころ

旭山動物園

動物本来の行動や生活に主眼を置くユニークな「行動展示」に高い人気と定評がある日本最北の動物園。園内にはほぼ毎年新しい施設が誕生しているため、遠方からでも毎年訪れる価値がある。

9時15分～17時15分（4月下旬～11月上旬）および10時30分～15時30分（11月中旬～4月上旬）、820円



旭川市郊外にある



冬の風物詩「ペンギンの散歩」

常磐公園

旭川中心部の石狩川沿いに広がる都市公園。ポート遊びが楽しめる千鳥ヶ池を中心に様々な樹木が立ち並び、北海道立旭川美術館や川のおもしろ館、中央図書館などの文化施設が点在する。毎年2月には隣接する石狩川河川敷で旭川冬まつりを開催。

旭川駅から徒歩15分（日本の都市公園百選）



園内を流れる小川



ポート遊びを楽しめる



北海道とサハリンの オンライン旅行ガイド

ekinavi-net.jp

北海道伝統美術工芸村

中世ヨーロッパの城郭を模したビザンチン洋式の雪の美術館、手織り工芸品専門の優良織工芸館、5千点の染織品を展示する国際染織美術館の3施設が集まる美術村。海外から訪れる観光客も多い。旭川駅前から道北バス53系統などに乗車し、高砂台入口で下車、徒歩5分。

9時～17時、3館入館券1200円



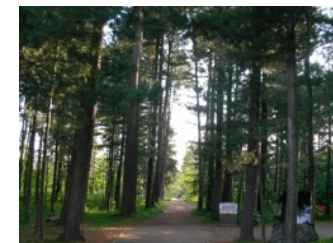
雪の美術館



優良織工芸館

外国樹種見本林・三浦綾子記念文学館

旭川市神楽の美瑛川河畔に広がる上川中部森林管理所の国有林。旭川出身の作家、三浦綾子氏の文学作品「氷点」の舞台となった場所で、ヨーロッパトウヒ、ヨーロッパアカマツなど、外国樹木約50種が植えられている。併設の文学記念館は9時～17時に開館、10月～5月の月曜（祝日の場合は翌日）休館、入館料500円。旭川駅から徒歩20分。



木漏れ日の見本林



三浦綾子記念文学館

旭川市博物館

大雪クリスタルホール内にある郷土博物館。先土器時代から現在までの旭川の暮らし、旭川と近郊の自然に関する展示がある。旭川駅から徒歩10分。9時～17時、第2・4月曜休館（祝日の場合は翌日）、300円

旭川市科学館サイバル

北彩都あさひかわ地区に建つ国内有数の近代的な科学館。常設展示には最新鋭の科学技術を駆使しており、科学や宇宙の基礎知識から北国ならではの自然現象を紹介。星空観察も楽しめる。9時～17時、月曜休館（祝日の場合は翌日）、400円

北海道立旭川美術館

常盤公園の南西側に建つ道立美術館。設計は北海道を代表する建築家の一人である田上義也氏で、道北にゆかりのある作家の作品、木の造形作品などを中心に収蔵・展示。企画展も随時開催している。9時30分～17時、月曜休館（祝日の場合は翌日）、170円

川村カトアイヌ記念館

アイヌの鉄道技師として北海道各地や飯田線などの鉄道測量に携わった川村カト氏がアイヌ文化を正しく伝承する目的で1916年に開設した北海道最古のアイヌ資料館。9時～17時、7・8月は18時まで、500円